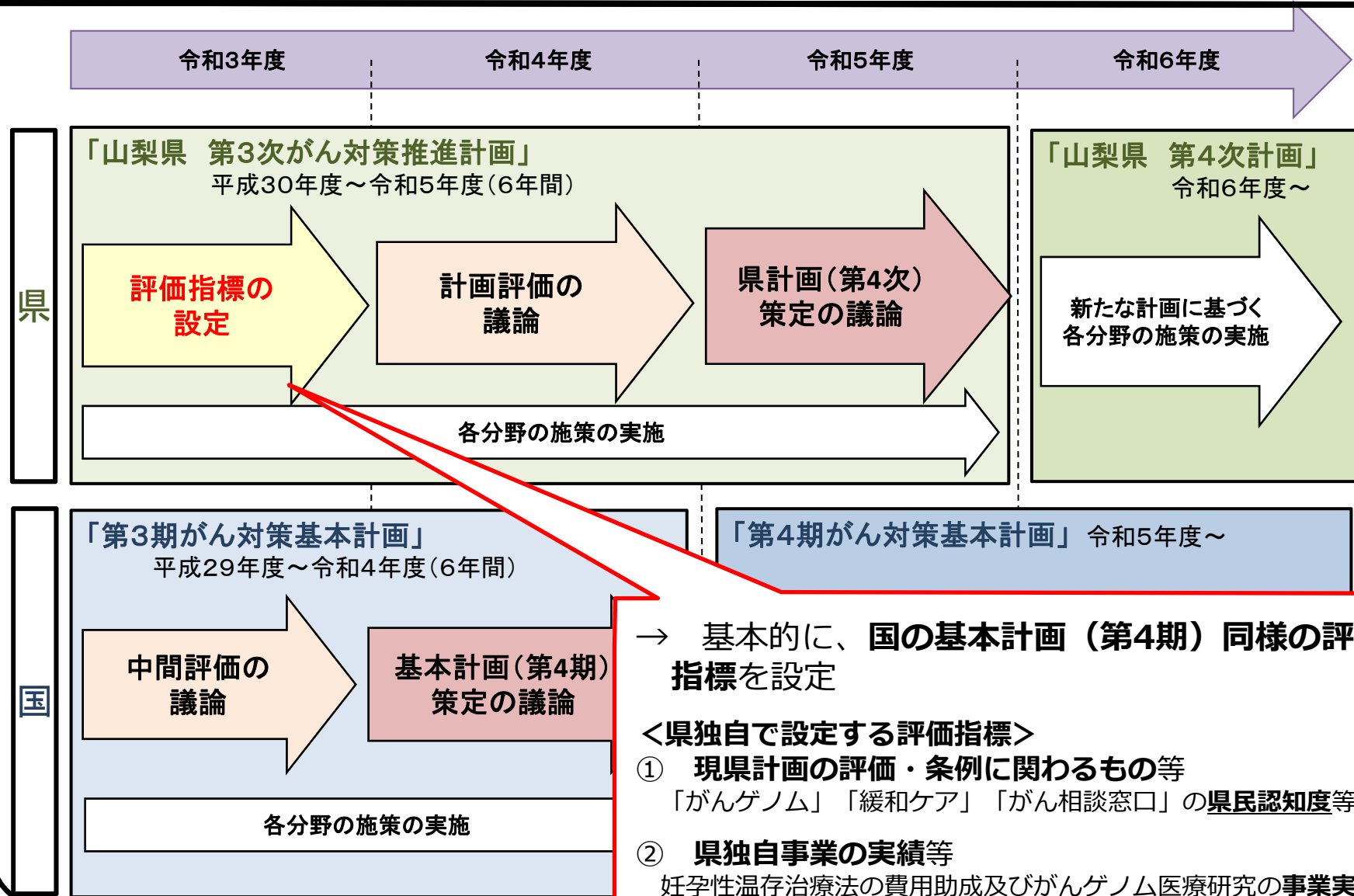


山梨県がん対策推進計画(第3次)評価指標案

評価指標設定の考え方と計画改定スケジュール



山梨県がん対策推進計画(第3次)評価指標案

国指標と比較

No	項目	評価指標	用いる調査	現状値	ベース値(策定時)	国指標と比較			国の評価指標	用いる調査
						共通	類似	独自		
0	全体目標	75歳未満年齢調整死亡率	がん登録・統計	2010→2020年 -24.4% 2009→2019年 -12.0% 2008→2018年 -19.3% 2007→2017年 -17.9%	2006→2016年 -23.2% 【目標】10年前に比べ概ね2割減少させ続けていく	○			1001 がんの年齢調整死亡率	がん登録・統計
1	がんの予防 (1)がんの1次予防 ①生活習慣	成人喫煙率	県民栄養調査	令和4年(2022)調査予定	平成26年(2014) 成人喫煙率 19.6% 男性34.1%、女性6.8% 【目標】13.9% 男性24.5%、女性5.4% ※「健やか山梨【第2次】」と調和した目標	○			1011 成人喫煙率	国民健康・栄養調査
2		未成年喫煙率	子どもの喫煙等母子保健関係調査	令和4年(2022)調査予定	平成28年度(2016) 未成年喫煙率 高校3年 男子2.5%、女子0.6% 中学1年 男子0.0%、女子0.5% 【目標】0% ※「健やか山梨【第2次】」と調和した目標	○			1012 未成年喫煙率	厚生労働科学研究
3		妊娠中の喫煙率	山梨県母子保健事業報告年報	令和4年(2022)調査予定	平成28年度(2016) 妊娠中の喫煙率 3.6% 【目標】0% ※「健やか山梨【第2次】」と調和した目標	○			1013 妊娠中の喫煙率	厚生労働科学研究
4		受動喫煙で不快な思いをしている人の割合	県民栄養調査	令和4年(2022)調査予定	平成26年(2014) 受動喫煙で不快な思いをしている人の割合 38.0% 【目標】減少傾向 ※「健やか山梨【第2次】」と調和した目標		○		1015 望まない受動喫煙の機会を有する者の割合	国民健康・栄養調査

山梨県がん対策推進計画(第3次)評価指標案

No	項目	評価指標	用いる調査	現状値	ベース値(策定時)	国指標と比較			国の評価指標	用いる調査
						共通	類似	独自		
5		生活習慣病リスクを高める量の飲酒	県民栄養調査	令和4年(2022)調査予定	平成26年(2014) 生活習慣病リスクを高める量の飲酒 男性13.0%、女性7.8% 【目標】男性10.1%、女性2.9% ※「健やか山梨【第2次】」と調和した目標	○			1016 ハイリスク飲酒者の割合	国民健康・栄養調査
6		運動習慣のある者の割合	県民健康づくり実践状況調査	令和4年(2022)調査予定	平成28年(2016) 運動習慣のある者(20~59歳) 男性21.0%、女性22.7% 【目標】男性35.0%、女性40.0% ※「健やか山梨【第2次】」と調和した目標	○			1017 運動習慣のある者の割合	国民健康・栄養調査
7		野菜の摂取量	県民栄養調査	令和4年(2022)調査予定	平成26年(2014) 野菜の摂取量 成人1日当たり 337g 【目標】350g ※「健やか山梨【第2次】」と調和した目標	○			1020 野菜・果物の摂取量	国民健康・栄養調査
8		食塩摂取量	県民栄養調査	令和4年(2022)調査予定	平成26年(2014) 食塩摂取量 成人1日あたり 10.5g 【目標】8g ※「健やか山梨【第2次】」と調和した目標	○			1019 食塩摂取量	国民健康・栄養調査
9	②感染症対策	(肝炎ウイルスの感染が関与するもの) 肝がんの75歳未満年齢調整死亡率	人口動態統計	令和元年(2019) 肝がんの75歳未満年齢調整死亡率 (人口10万人あたり) 山梨 4.4、全国 4.0	平成28年(2016) 肝がんの75歳未満年齢調整死亡率 (人口10万人あたり) 山梨 5.5、全国 5.1 【目標】全国平均まで改善 ※「肝炎対策推進計画【第2次】」と調和した目標	○			1002 がん種別の年齢調整死亡率の変化	がん登録・統計

山梨県がん対策推進計画(第3次)評価指標案

No	項目	評価指標	用いる調査	現状値	ベース値(策定時)	国指標と比較			国の評価指標	用いる調査
						共通	類似	独自		
10		(肝炎ウイルスの感染が関与するもの) 肝がんの年齢調整罹患率	がん登録事業報告	平成30年(2018) 肝がんの年齢調整罹患率 (人口10万人あたり) 山梨 16.3、全国 12.6	平成25年(2013) 肝がんの年齢調整罹患率 (人口10万人あたり) 山梨 15.0、全国 15.2 【目標】全国平均まで改善 ※「肝炎対策推進計画【第2次】」と調和した目標	○			1004 がん種別の年齢調整罹患率の変化	がん登録・統計
11		(ピロリ菌の感染が関与するもの) 胃がんの75歳未満年齢調整死亡率	人口動態統計	令和元年(2019) 胃がんの75歳未満年齢調整死亡率 (人口10万人あたり) 山梨 6.5、全国 7.2	平成28年(2016) 胃がんの75歳未満年齢調整死亡率 (人口10万人あたり) 山梨 8.5、全国 8.5	○			1002 がん種別の年齢調整死亡率の変化	がん登録・統計
12		(ヒトパピローマウイルスの感染が関与するもの) 子宮頸がんの年齢調整罹患率	がん登録事業報告	平成30年(2018) 子宮頸がんの年齢調整罹患率 (人口10万人あたり) 山梨 12.7、全国 14.1	平成25年(2013) 子宮頸がんの年齢調整罹患率 (人口10万人あたり) 山梨 9.9、全国 13.8	○			1004 がん種別の年齢調整罹患率の変化	がん登録・統計
13	(2)がんの早期発見及びがん検診(2次予防) ①受診率向上対策	がん検診受診率	国民生活基礎調査	令和元年(2019) がん検診受診率 ○胃がん※ (50~69歳 過去2年の受診) 山梨 57.9%、全国 49.5% ○肺がん (40~69歳 過去1年の受診) 山梨 61.2%、全国 49.4% ○大腸がん (40~69歳 過去1年の受診) 山梨 53.9%、全国 44.2% ○子宮頸がん (20~69歳 過去2年の受診) 山梨 49.8%、全国 43.7% ○乳がん※ (40~69歳 過去2年の受診) 山梨 58.6%、全国 47.4% ※国指針の改正により対象に変更あり	平成28年(2016) がん検診受診率 ○胃がん (40~69歳 過去1年の受診) 山梨 50.1%、全国 40.9% ○肺がん (40~69歳 過去1年の受診) 山梨 58.7%、全国 46.2% ○大腸がん (40~69歳 過去1年の受診) 山梨 51.3%、全国 41.4% ○子宮頸がん (20~69歳 過去2年の受診) 山梨 47.9%、全国 42.4% ○乳がん (40~69歳 過去2年の受診) 山梨 57.2%、全国 44.9% 【目標】60%	○			1031 がん検診受診率	国民生活基礎調査

山梨県がん対策推進計画(第3次)評価指標案

No	項目	評価指標	用いる調査	現状値	ベース値(策定時)	国指標と比較			国の評価指標	用いる調査
						共通	類似	独自		
14		がん検診を受けなかった理由の回答割合	県政モニター	令和4年(2022)調査予定	平成28年(2016)問10 ・がん検診を受けていない理由(複数回答) 「特に理由はない」20.3% 「必要なときは医療機関を受診できる」18.9% 「時間がない」17.1% 「検査に伴う苦痛に不安」15.7% 「対象年齢ではない」14.7% 「費用の経済的負担」13.8% 「面倒だから」12.0% 「毎回受ける必要性を感じない」9.2% 「健康状態に自信がある」8.3% 「結果が不安なため」7.4%					
15	②がん検診の精度管理等	がん精密検査受診率	地域保健・健康増進事業報告	平成29年(2017) がん精密検査受診率 ○胃がん(50~74歳) 山梨 78.9%、全国 81.8% ○肺がん(40~74歳) 山梨 83.9%、全国 83.5% ○大腸がん(40~74歳) 山梨 67.4%、全国 70.7% ○子宮頸がん(20~74歳) 山梨 64.0%、全国 75.2% ○乳がん(40~74歳 マンモのみ) 山梨 84.5%、全国 88.8%	平成27年(2015) がん精密検査受診率 ○胃がん(40~74歳) 山梨 79.3%、全国 81.7% ○肺がん(40~74歳) 山梨 75.3%、全国 83.5% ○大腸がん(40~74歳) 山梨 69.9%、全国 70.1% ○子宮頸がん(20~74歳) 山梨 64.6%、全国 74.4% ○乳がん(40~74歳 視触診・マンモ併存) 山梨 89.3%、全国 88.3% 【目標】90%				1032 精密検査受診率	地域保健・健康増進事業報告
16	③職域におけるがん検診	指針に基づかないがん検診を実施している市町村の割合	がん検診の実施状況調査	令和元年(2019) 指針に基づかない検診部位の検診実施がある市町村の割合 山梨 100%、全国 83.7%	平成28年(2016) 指針に基づかない検診部位の検診実施がある市町村の割合 山梨 100%、全国 86.5%				参8 指針に基づかないがん検診を実施している市区町村の割合	市区町村におけるがん検診の実施状況調査
17	2 がん医療の充実 (1)がんゲノム医療	ゲノム情報を活用したがん医療について患者が必要な情報を取得できた割合	患者体験調査	平成30年(2018)問34 ゲノム情報を活用したがん医療についてよく知っている、ある程度知っていると回答した人の割合 山梨:9.9%、全国:17.0%	なし				2020 ゲノム情報を活用したがん医療についてがん患者が必要な情報を取得できた割合	患者体験調査(問34)、世論調査

山梨県がん対策推進計画(第3次)評価指標案

No	項目	評価指標	用いる調査	現状値	ベース値(策定時)	国指標と比較			国の評価指標	用いる調査
						共通	類似	独自		
18		がんゲノム医療についての県民の認知度	県政モニター	令和4年(2022)調査予定 ・がんの分野のゲノム医療 「知っている」 よく知っている 名前だけは知っている 「知らない」	なし					
19		遺伝子パネル検査を受けた患者数	提供実績調査	令和2年(2020) がんゲノム医療連携病院(2 病院) がん遺伝子パネル検査数: 40件 うち治療件数:4件	なし	○			2017 遺伝子パネル検査を受けた患者数	現況報告(がんゲノム)
20	(2)手術・放射線・薬物・免疫療法 ①医療提供体制	納得のいく治療を受けられたがん患者の割合	患者体験調査	平成30年(2018) 問20-10 とてもそう思う、ある程度そう 思うと回答した人の割合 山梨:77.4%、全国:77.3%	平成26年(2014) 同種設問 山梨:90.3%、全国:88.1% 全国について、回答者を本人 に限定しH26調査と比較可能 な値に換算した場合、 H26:88.1%→H30:90.7%	○			2004 納得のいく治療を受けられたがん患者の割合	患者体験調査(成人問20-10)
21	②各治療法	医療が進歩していることを実感した患者の割合	患者体験調査	平成30年(2018) 問30-1 とてもそう思う、ある程度そう 思うと回答した人の割合 山梨:73.1%、全国:75.6%	平成26年(2014) 同種設問 山梨:79.7%、全国:80.1% 全国について、選択肢の差 異を補正しH26調査と比較可 能な値に換算した場合、 H26:80.1%→H30:84.8%	○			2003 医療が進歩していることを実感している患者の割合	患者体験調査(成人問30-1、小児問40-1)
22		がん治療前に、セカンドオピニオンに関する話を聞いた患者の割合	患者体験調査	平成30年(2018) 問13 話があったと回答した人の割合 山梨:44.5%、全国:34.9%	平成26年(2014) 同種設問 あるが、内容の変更で単純 比較は適さない (H26参考:山梨:49.7%、全 国:40.3%)	○			2025 がん治療前に、セカンドオピニオンに関する話を聞いたがん患者の割合	患者体験調査(成人問13)
23		がんの診断・治療全体の総合的評価	患者体験調査	平成30年(2018) 問23 回答者全員の平均点(10点 満点) 山梨:7.8点、全国:7.9点	なし	○			2005 がんの診断・治療全体の総合的評価	患者体験調査(成人問23、小児問25)
24	(3)チーム医療の推進	拠点病院におけるキャンサーボード開催数	がん診療連携拠点病院等現況報告	令和元年(2019)報告(H30実績) 5病院合計 813件	平成29年(2017)報告(H28実績) 5病院合計 175件	○			2056 1拠点病院あたりのキャンサーボード開催数	現況報告
25		主治医以外にも相談しやすいスタッフがいた患者の割合	患者体験調査	平成30年(2018) 問20-9 とてもそう思う、ある程度そう 思うと回答した人の割合 山梨:50.1%、全国:48.8%	なし	○			2055 主治医以外にも相談しやすいスタッフがいた患者の割合	患者体験調査(成人問20-9、小児問20-8)

山梨県がん対策推進計画(第3次)評価指標案

国指標と比較

No	項目	評価指標	用いる調査	現状値	ベース値(策定時)	国指標と比較			国の評価指標	用いる調査
						共通	類似	独自		
26	(4)がんのリハビリテーション	拠点病院等における診療報酬のがんリハビリテーション単位数	がん診療連携拠点病院等現況報告	令和元年(2019)報告(H30実績) 5病院合計 15,543単位	平成30年(2018)報告(H29実績) 5病院合計 11,380単位		○		2062 拠点病院に通院・入院中のがん患者でリハビリテーションを受けた患者の割合	がん対策評価検証事業
27		拠点病院等におけるリハビリテーション科専門医の配置	がん診療連携拠点病院等現況報告	令和元年(2019)報告(H30実績) 5病院合計 非常勤0人、常勤2人	平成29年(2017)報告(H28実績) 5病院合計 非常勤0人、常勤2人	○			2061 リハビリテーション専門医が配置されている拠点病院の割合	現況報告
28	(5)支持療法の推進	治療による副作用の見通しを持てた患者の割合	患者体験調査	平成30年(2018) 問20-2 とてもそう思う、ある程度そう思うと回答した人の割合 山梨:64.1%、全国:61.9%	なし	○			2074 治療による副作用の見通しを持てた患者の割合	患者体験調査(成人問20-2、小児問20-2)
29	(6)希少がん及び難治性がん対策	希少がんについて、専門的な医療を受けられたと感じているがん患者の割合	患者体験調査	平成30年(2018) 問20-8 とてもそう思う、ある程度そう思うと回答した人の割合 (希少がん患者) 全国集計データのみ:80.0% (がん患者全体) 山梨:73.2%、全国:78.7%	なし	○			2083 希少がんについて、専門的な医療を受けられたと感じているがん患者の割合	患者体験調査(成人問20-8)
30	(7)小児・AYA世代・高齢者のがん対策 ①小児がん ②AYA世代のがん	妊孕性温存療法の費用助成を受けた患者の数	がん患者等妊孕性温存支援事業実績	令和2年度(2020) 助成実績:7名(男性2、女性5) 令和元年度(2019)制度創設 助成実績:1名(男性1、女	なし		○	—	—	—
31	③高齢者のがん	治療開始前に、生殖機能への影響に関する説明を受けたがん患者・家族の割合	患者体験調査	平成30年(2018) 問16 説明があったと回答した人の割合 (40歳未満) 全国集計データのみ:52.0% (全年齢) 山梨:11.4%、全国:10.6%	平成26年(2014) 同種設問 全国:38.1% 全国について、H26調査値を今回と比較可能な値に換算した場合、H26:48.2%→ H30:52.0%	○			2093 治療開始前に、生殖機能への影響に関する説明を受けたがん患者・家族の割合	患者体験調査(成人問16、小児問13)
32	(8)がん登録	がん登録事業の精度管理指標	がん登録事業報告	平成30年(2018) ・DCI:死亡者情報票を契機に登録されたがん(指標値20%未満) 山梨 1.9%、全国 3.1% ・DCO:死亡票のみで登録されているもの(指標値10%未満) 山梨 2.2%、全国 1.9% ・MI比:死亡数/罹患数(指標値0.4以下) 山梨 0.39、全国 0.38	平成28年(2016) ・DCI:死亡者情報票を契機に登録されたがん(指標値20%未満) 山梨 5.9%、全国 4.5% ・DCO:死亡票のみで登録されているもの(指標値10%未満) 山梨 3.2%、全国 3.2% ・MI比:死亡数/罹患数(指標値0.4以下) 山梨 0.37、全国 0.37	○			2111 全国がん登録の精度指標としてのMI比・%DCO	全国がん登録

山梨県がん対策推進計画(第3次)評価指標案

No	項目	評価指標	用いる調査	現状値	ベース値(策定時)	国指標と比較			国の評価指標	用いる調査
						共通	類似	独自		
33	3 がんとの共生 (1)緩和ケア ①緩和ケアの提供	身体的な苦痛を抱える患者の割合	患者体験調査	平成30年(2018)問36-2 あまりそう思わない、そう思わないと回答した人の割合 山梨:48.3%、全国55.4%	平成26年(2014)同種設問 山梨:60.6%、全国57.4%	○			3012 身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	患者体験調査(成人問36-2)
34		精神心理的な苦痛を抱える患者の割合	患者体験調査	平成30年(2018)問36-4 あまりそう思わない、そう思わないと回答した人の割合 山梨:57.3%、全国62.0%	平成26年(2014)同種設問 山梨:65.6%、全国61.5%	○			3013 精神心理的な苦痛を抱えるがん患者の割合	患者体験調査(成人問36-4)
35	②緩和ケア研修会	緩和ケア研修修了者数	がん診療連携拠点病院等現況報告	令和元年(2019)報告(H30実績) 5病院合計 がん診療医師数 301人 修了者 273人 受講率 90.7% 研修医数 108人 修了者 71人 受講率 65.7%	平成29年(2017)報告(H28実績) 5病院合計 がん診療医師数 300人 修了者 255人 受講率 85.0% 研修医数 132人 修了者 102人 受講率 77.3%	○			3017 緩和ケア研修修了者数(医師・医師以外)	がん等における新たな緩和ケア研修等事業
36	③緩和ケアの普及啓発	緩和ケアについての県民の認知度	県政モニター	令和4年(2022)調査予定	平成28年(2016)問7 ・緩和ケアをいつから実施すべきと思うか 「診断された時から」59.4%		○		3018 国民の緩和ケアに関する認識	世論調査
37	(2)相談支援・情報提供 ①相談支援	がん相談窓口についての県民の認知度	県政モニター	令和4年(2022)調査予定	平成28年(2016)問16,17 ・がん相談支援センター 「知っている」18.2% 「名前は聞いた事がある」22.8% ・がん患者サポートセンター 「知っている」5.8% 「名前は聞いた事がある」17.4%			○	3023 がん相談支援センター/相談支援センターについて知っているがん患者・家族の割合	患者体験調査(成人問31、小児問41)
38		診断から治療開始まで、病気や療養生活について相談できたと感じる患者の割合	患者体験調査	平成30年(2018)問12 相談できたと回答した人の割合 山梨:84.2%、全国76.3%	平成26年(2014)同種設問あるが、内容の変更で単純比較は適さない (H26参考:山梨:73.5%、全国67.4%)	○			3021 がんと診断～治療開始まで、病気や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合	患者体験調査(成人問12)
39	②情報提供	県ホームページ「山梨のがん情報」へのアクセス数	アクセスカウンター	R02(2020)年度 8,957件 R01(2019)年度 9,880件 H30(2018)年度 4,458件	H29(2017)年度 5,239件			○	3025 がん情報サービスにアクセスし、探していた情報にたどり着くことができた者の割合	国立がん研究センターがん情報サービス

山梨県がん対策推進計画(第3次)評価指標案

No	項目	評価指標	用いる調査	現状値	ベース値(策定時)	国指標と比較			国の評価指標	用いる調査
						共通	類似	独自		
40	(3)がん患者支援 ①拠点病院等と地域との連携	拠点病院における地域連携推進のための多施設合同会議の開催数	がん診療連携拠点病院等現況報告	令和元年(2019)報告(H30実績) 5病院合計 13件	平成29年(2017)報告(H28実績) 5病院合計 8件	○			3031 拠点病院あたりの地域連携推進のための多施設合同会議の開催数	現況報告
41	②情報提供	在宅で亡くなったがん患者の医療に対する満足度	がん患者の療養生活の最終段階における実態把握事業	平成30年(2018) A.a-4 やや満足、満足、非常に満足と回答した人の割合 山梨:77.4%、全国78.8%	なし	○			3033 在宅で亡くなったがん患者の医療に対する満足度	がん患者の療養生活の最終段階における実態把握事業
42		望んだ場所で過ごせた患者の割合	がん患者の療養生活の最終段階における実態把握事業	平成30年(2018) B.b-4 ややそう思う、そう思う、とてもそう思うと回答した人の割合 山梨:52.4%、全国47.7%	なし	○			3034 望んだ場所で過ごせたがん患者の割合	がん患者の療養生活の最終段階における実態把握事業
43	(4)就労等社会的な問題 ①就労支援	・事業主の就業継続の理解が得られた割合 ・治療に伴い退職した割合 ・治療と仕事の両立に苦慮した割合 ・がん相談支援センターの利用割合	がん患者等支援事業実績	令和2年(2020) 「がんの治療と仕事の両立支援に関するアンケート」 ・事業主の就業継続の理解が得られたと回答した割合 85.5% ・治療に伴い退職したと回答した割合 13.3% ・治療と仕事の両立に何らかの苦慮があったと回答した割合 89.4% ・がん相談支援センターを利用したと回答した割合 10.4%	平成28年(2016) 「がん患者就労・療養生活調査」 ・事業主の就業継続の理解が得られたと回答した割合 67.8% ・治療に伴い退職したと回答した割合 18.1% ・治療と仕事の両立に何らかの苦慮があったと回答した割合 78.7% ・がん相談支援センターを利用したと回答した割合 13.1%		○		3042 がんと診断後も仕事を継続していたがん患者の割合	患者体験調査(成人問29-1)
44	②就労以外の社会的問題	外見の変化に関する相談ができたがん患者の割合	患者体験調査	平成30年(2018) 問22 相談できたと回答した人の割合 山梨:33.4%、全国28.3%	なし	○			3048 外見の変化に関する相談ができたがん患者の割合	患者体験調査(成人問22、小児問22)
45	(5)ライフステージに応じたがん対策	家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合	患者体験調査	平成30年(2018) 問30-2 とてもそう思う、ある程度そう思うと回答した人の割合 山梨:51.3%、全国47.7%	平成26年(2014) 同種設問 山梨:36.5%、全国:37.1% 全国について、選択肢の差異を補正しH26調査と比較可能な値に換算した場合、 H26:37.1%→H30:57.6%	○			3054 家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合	患者体験調査(成人問30-2、小児問40-2)

山梨県がん対策推進計画(第3次)評価指標案

No	項目	評価指標	用いる調査	現状値	ベース値(策定時)	国指標と比較			国の評価指標	用いる調査
						共通	類似	独自		
46	4 基盤の整備 (1)がん研究	がんゲノム医療の研究 支援施設における報 告数	事業実績報告	令和2年(2020) がんゲノム医療推進事業 (研究維持向上事業:県立中 央病院対象) ゲノム解析件数:1,623件	平成29年(2017) ゲノム解析センター研究事業 (解析・研究事業:県立中央 病院対象) ゲノム解析件数:1,198件			○	—	—
47	(2)人材育成	拠点病院における地 域連携推進のための 他施設合同会議の開 催数(再掲)	がん診療連携拠点病 院等現況報告	令和元年(2019)報告(H30実 績) 5病院合計 13件	平成29年(2017)報告(H28実 績) 5病院合計 8件	○			3031 1拠点病院あた りの地域連携推進の ための多施設合同会 議の開催数	現況報告
48		緩和ケア研修修了者 数(再掲)	がん診療連携拠点病 院等現況報告	令和元年(2019)報告(H30実 績) 5病院合計 がん診療医師数 301人 修了者 273人 受講率 90.7% 研修医数 108人 修了者 71人 受講率 65.7%	平成29年(2017)報告(H28実 績) 5病院合計 がん診療医師数 300人 修了者 255人 受講率 85.0% 研修医数 132人 修了者 102人 受講率 77.3%	○			3017 緩和ケア研修修 了者数(医師・医師以 外)	がん等における 新たな緩和ケア研 修等事業
49	(3)がん教育・がん に関する知識の普 及啓発	外部講師を活用してが ん教育を実施した学校 数	がん教育実施状況調 査	平成30年(2018) がん教育実施校の割合 山梨:70.9%(234校)、全国 61.9% 実施校での外部講師の活用 割合 山梨9.0%(21校)、全国13.1% ※R1,R2は全国調査の実施 なし(コロナの影響)	平成29年(2017) がん教育実施校の割合 山梨:74.3%(226校)、全国 56.8% 実施校での外部講師の活用 割合 山梨6.6%(15校)、全国12.6%	○			4031 外部講師を活用 してがん教育を実施し た学校の割合	がん教育実施状 況調査
50		がんについての正しい 情報を持つことを意識 している県民の割合	県政モニター	令和4年(2022)調査予定	平成28年(2016) 問4 ・県の条例で、がんについ ての正しい情報を持つことが 県民の責務であることを知っ ているか 「知っている」9.4%			○	—	—